

平成9年度 市長施政方針

厳しい財政環境の下で、 行財政改革に真剣に取り組み、 市民皆様の理解と協力を得て、 21世紀へ向けて市民が誇れる「狭山市」づくり に 全エネルギーを注ぎたい！



市長 町田 潤一

(この特集ページ本文内容は、3月3日に開催された第1回定例市議会市長施政方針のなかからの要約です)

(1) 調和のとれたまちづくり

狭山市駅西口周辺整備事業のうち、市街地再開発事業は、現在、関係権利者と話し合いを継続しながら、事業計画書の調整と合意形成を図り、計画の早期具現化に向け全力で取り組んでおりますが、事業をより効率的に進めるため、住宅・都市整備公団や民間活力の導入を積極的に図っていただく考えです。なお、隣接する新都市機能ゾーンの整備事業は、入間川小学校の移転に向けての事業が着々と進

められていますので、補助幹線道路についても整備に向けて早急に取り組んでいきます。また、狭山市駅東口土地区画整理事業は、事業の円滑な推進を図るよう計画の変更を実施しているところですが、その後、仮換地の一部指定を行うとともに、区画道路の築造工事を進めるなど、事業の推進を図ってまいります。次に、入間駅東口地区整備事業は、引き続き地元権利者との話し合いを継続する中で、駅前広場等の施設計画や整備手法等を含めた、地元との合意に基づき、整備構想案の作成に取り組むとともに、入間小学校用地の取り扱いについても研究してまいります。さらに、上広瀬土地区画整理事業は、事業開始以来、今日まで、地権者をはじめ、関係各位の大変なご協力をいただいたお陰で、仮換地の指定状況は81パーセントに

達しているところですが、なお、地権者との話し合いを含め、残された解決すべき課題もあり、今後もそれらに全力で取り組み、状況の変化に応じて適切な対応を行いながら、早期完成に向けて努力していきたくと考えています。次に、道路は、最も基本的な社会基盤であり、日常生活を支える重要な生活関連施設です。道路網の整備については、市内全域にわたり平均的整備の必要性も考慮しながら、利便性を高めるため、主要道路の整備に力を注いでいきたいと思います。都市計画道路の柏原新狭山線は、橋脚部の工事および、入間川左岸側の橋台工事を実施したところですが、引き続き、右岸側の橋台工事に向けて地権者の協力が得られるよう、全力で用地取得に努めてまいります。また、狭山市駅霞野線は、同

駅への重要なアクセス道路であり、西口再開発事業の促進を図るうえからも、最重要路線として位置づけ、用地測量を実施するとともに、用地買収を積極的に進めていきます。さらに、新狭山駅南口線は、関係地権者のご理解を得て、現況測量を実施し、事業に向けて推進してまいります。また、交通対策では、交通事故防止のための施設整備を進めるとともに、放置自転車等の保管場所の整備を図る中で、駅周辺の放置自転車の解消に努めます。水道事業は、第5期拡張事業の一環である配水管布設工事を進めるとともに、老朽管の計画的な更新などの推進を図ってまいります。次に、下水道事業は、汚水対策として、市街化調整区域第1期事業区の最終年度としての面的整備を推進するとともに、雨水対策についても、引き続き西河原雨水幹線整備事業や石無坂洪水対策事業の推進を図ってまいります。なお、都市計画マスタープランについては、当市にふさわしいまちづくりを進めるために、3か年計画で策定をしてまいります。

(2) 快適で安全なまちづくり

環境問題は、今や地球規模で取り組まなければならない問題であり、このかけがえのない地球を後世に残していくことが、私たちに課せられた大きな使命と責任でもあります。まず、公園施設の整備は、智光山公園

内便益施設の整備をはじめ、水辺公園として、入間川河川敷の整備を一層推進するとともに、緑地の保全と緑化の推進に係わる諸施策についても積極的に取り組んでいきます。また、ごみ処理については、昨年10月からごみ袋の透明・半透明化を実施しましたが、市民の理解と協力をいただき、現在、ほぼ100パーセントと言える円滑な移行が実現しました。この結果、排出量は4か月間で4パーセント近く減少する結果を得たことは、経費の削減と環境汚染への影響の軽減につながっているものであり、引き続き市民の協力をいただき、より一層の削減に努めていきたいと考えています。また、限りある資源の浪費を抑制し、廃棄物の減量化並びに資源化を推進することが強く求めらるるところから、一般廃棄物処理基本計画に掲げた減量化の達成に向けて組織の充実を図り、これを核にして市民、事業者と一体になって、廃棄物に混在する資源の細分別化に取り組むとともに、新たに古紙・古布の全市的回収を行うだけでなく、ペットボトルについても区域を指定しての試行収集を9月から実施することとされています。なお、「リサイクル都市・狭山」の宣言に基づき、市民・企業の協力を得て、リサイクル率の目標数値を達成するため、リサイクルプラザ構想も含め、具体的な事業の推進を図り、リサイクル先進都市狭山の実現に向けて努力してまいります。次

に、3か年継続事業として建設中の第二環境センター余熱利用施設(仮称は、老人デイサービスセンター)を併設した健康増進施設として大いに利用されるものと期待されますので、平成10年早々のオープンに向け、現在、鋭意建設を進めているところで、また、奥富の清掃センター余熱利用施設(仮称)についても地元との調整に入り、基本設計の実施など、具現化に向けて努力してまいります。なお、社会問題となつておりますダイオキシンをはじめとする対策については、今後とも近隣市町や埼玉県とも連携のうえ、市としても独自に調査をしていきます。次に、防災対策については、阪神・淡路大震災を教訓に計画の見直しを行い、備蓄品等の整備に努めてきただけでなく、市内企業による支援体制の確立と、食品衛生協会等からの物資の拠出を含めた応援体制の取り決め、また、自主防災組織の強化については、市内全域に広げるための支援事業に取り組むとともに、広域的支援面においても、小平市並びに厚木市との相互応援協定の締結に続き、新潟県津南町との相互応援が基本的に了承されていることから、着実に広域的支援体制を推進し、その充実強化を図ってまいります。さらに、入間多目的広場(調節池)整備事業は、順調に工事が進み、調節池としての機能と併せて市民の身近なスポーツ、健康増進施設として引き続き整備を進めてまいります。また、消防体

(3) 健康で生きがいのあるまちづくり

健康はすべての市民の願いであるため、健康づくり事業の推進には、今まで全力で取り組んできていたところですが、すでに「すこやか都市さやまの実現をめざして」に基づき、すこやか推進員や健康づくり推進協議会等の取り組みの充実を図りながら、地域における健康づくり事業の積極的な展開に努めるとともに、成人病予防や母子保健等の保健予防事業も引き続き、より一層充実を図ってまいります。特に、母子保健事業は、市町村にその業務が移譲されることから、一貫した母子保健体制での事業を推

進していきたくと考えています。また、高齢者福祉の充実については、高齢者が健康で生きがいを持って安心して生活を送ることができるよう、狭山市老人保健福祉計画の着実な推進を図るとともに、施設内容の面でも、新たに特別養護老人ホーム1か所、デイサービスセンター3か所の開設をはじめ、要援護者や介護者の支援に努めてまいります。在宅福祉サービスの充実には、ホームヘルプサービス事業等の拡充を図り、市民ニーズに応じたサービスや供給体制の整備、特に、在宅生活者の相談、指導、介護者支援を図る在宅介護支援センター機能の充実に取り組んでいきます。また、新たな取り組みとして、第3老人福祉センター建設に向けて、地域との合意形成を図りながら設計に着手したいと考えているほか、高齢者の生きがい支援を目的に、高齢者の主張や講演、地域活動PRなどを内容とする「シルバー成人式」等の開催、敬老祝金の見直しに併せて、高齢者福祉巡回バス(仮称)の運行などを含めた、さらなる福祉施策の充実を検討していき考えています。さらに、障害福祉の充実には、経済的負担の軽減を図るため、重度心身障害者福祉タクシーの対象者を拡大するとともに、障害を持つ乳幼児の通園施設の充実に取り組んでいきます。児童福祉については、少子化傾向にある中で、子供や家庭を取り巻く環境が大きく変化し、保育サービスも多様化している